

令和元年 11月 6日

## (臨床研究に関するお知らせ)

和歌山県立医科大学附属病院泌尿器科に、非淡明細胞型腎細胞癌で通院歴のある患者さんへ

和歌山県立医科大学人体病理学教室では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご説明するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、本学倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われる方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

### 1. 研究課題名

非淡明細胞型腎細胞癌における予後因子に関する臨床病理学的検討

### 2. 研究責任者

和歌山県立医科大学人体病理学 講師 小島 史好

### 3. 研究の目的

本研究では、発症頻度が低いため十分に研究が進展していない非淡明細胞型腎細胞癌、特に嫌色素性腎細胞癌の予後推定因子の発見と他の組織型との鑑別に有用な病理診断手法の開発を目指します。診断精度向上により腎癌の発症や進行のメカニズムの解明、発症予防、また新たな治療法の開発に貢献します。

### 4. 研究の概要

#### (1) 対象となる患者さん

非淡明細胞型腎細胞癌の患者さんで、平成13年1月1日から令和5年12月31日までの期間中に、腎腫瘍切除術の治療を受けた方

#### (2) 利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂くデータは、年齢、性別、腫瘍径、治療歴、切除した腫瘍の肉眼写真および組織学的所見、腫瘍の染色体や腫瘍の遺伝子発現に関する情報です（患者さんの遺伝子異常を解析するものではありません）。

#### (3) 方法

新潟大学を主たる研究機関とする23施設にわたる他施設共同研究です。パラフィン切片から腫瘍の核酸を抽出し、腫瘍染色体や遺伝子の異常やその発現量について解析します（患者さんの遺伝子異常を解析するものではありません）。細胞増殖との関連が示唆される抗体を用いた免疫染色を施行します。上述の検査結果と臨床所見や組織学的所見との関係、予後との関係を検討します。

### 5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

### 6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被るこ

とは一切ありません。

7. 問い合わせ先

和歌山市紀三井寺 811-1

和歌山県立医科大学人体病理学 担当医師 小島 史好

TEL : 073-441-0635 FAX : 073-444-5777

E-mail : fumiyosh@wakayama-med.ac.jp